

各都道府県市町村教育委員会教育長 様  
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様  
各中学校技術・家庭科担当者 様  
関係 各 位

第60回全日本・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会  
東京大会 大会会長 平松 功治  
大会運営委員長 杉浦 伸一

第60回 全日本中学校技術・家庭科研究大会  
第60回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会  
**東京大会のご案内（最終案内）**

時下、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第60回全日本中学校技術・家庭科研究大会並びに第60回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会を東京都にて開催いたします。

本大会に向けて研究主題を「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指す技術・家庭科教育」として、技術・家庭科教育の充実発展を目指し、実践的な研究を進めているところです。

このコロナ禍において集合型の研究大会開催が困難なため、今回は、オンラインによるライブ配信とオンデマンド配信を併用した形で開催いたします。オンライン研究大会は、これまで地理的な条件により参加できなかった方も参加が可能になります。貴職をはじめ、本教科担当の先生方、及び関係各方面から多数のご参加をいただき、ご指導ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

## 大会開催要項

### 1 主催

- ・全日本中学校技術・家庭科研究会
- ・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
- ・東京都中学校技術・家庭科研究会

### 2 後援（予定）

文部科学省 東京都教育委員会  
墨田区教育委員会 台東区教育委員会 世田谷区教育委員会 江戸川区教育委員会  
青梅市教育委員会 府中市教育委員会 小平市教育委員会 新島村教育委員会  
全日本中学校長会 東京都中学校長会  
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興会 一般社団法人日本産業技術教育学会

### 3 期日

令和3年11月11日（木）全国理事研修会  
11月12日（金）研究発表会等

### 4 日程

	15:00	16:00						
11月11日（木）	全国理事研修会							
	9:00	9:30	10:30	11:30	12:00	14:00	14:50	16:00
11月12日（金）	開会式	全体発表	指導講評	閉会式	昼食休憩	公開授業	分科会発表	指導講評

## 5 研究主題

### よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて 生活を工夫し創造する生徒の育成を目指す技術・家庭科教育 － 問題を見極め課題を設定し解決する学習活動を通して －

#### <主題設定の理由>

第60回全国中学校技術・家庭科研究大会東京大会が開催される令和3年より、新学習指導要領が全面实施となった。その中で、技術・家庭科においては、技術分野、家庭分野ともに、見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造する生徒の育成を目指すことが示されている。

本研究会で生徒の実態を調査したところ、生活や社会の中から問題を見いだそうとしている生徒、および問題を解決しようとしている生徒の割合が低いことが明らかになった。この結果から、生徒が主体的に生活を工夫し創造できるためには、身の回りの生活や社会を見渡し、その中から問題を見極め、課題を設定し、解決できるための資質や能力を育むことが大切だと考えた。

10年前に開催された第50回全日本中学校技術・家庭科研究大会東京大会では、持続可能な社会を目指し、技術・家庭科で学んだ生徒がその担い手となるよう研究に取り組んだ。今回の研究では一人一人の生徒が、よりよい生活や持続可能な社会の実現に向けて問題を見極め、課題を設定し、解決できるための資質や能力を身に付けることにより、持続可能な社会の創り手となることを目指した。

そこで本研究会では、生徒が社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等や協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等、技術や生活の営みに係る「見方・考え方」におけるもの捉え方や着目するポイントなどを用いて、よりよい生活や持続可能な社会の実現に向けて問題を見極めること。見極めた問題について「見方・考え方の視点」を用いて課題を設定すること。設定した課題を解決できることなど、見方・考え方を働かせる学習題材を工夫するとともに、問題を見極め、課題を設定し解決する学習を3年間を見通して計画的に繰り返すことで、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造する生徒が育成できるであろう。さらに、学習指導と学習評価の方法を明らかにすることができれば、子供の学びを質的に高め、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し、創造する資質・能力を育成することができるであろうと考え、研究の主題を設定した。

## 6 全体会指導講評

文部科学省 初等中等教育局 視学官  
初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
情報教育・外国語教育課 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 丸山 早苗 様

## 7 分科会

分科会及び題材の内容	所属校・授業者	分科会での研究発表者
第1分科会 技術分野 A 【材料と加工の技術】	府中市立府中第九中学校 指導教諭 山本 祐也	小平市立小平第五中学校 主任教諭 新堂 貢二
第2分科会 技術分野 B 【生物育成の技術】	新島村立新島中学校 教諭 高島 純	江戸川区立松江第一中学校 主任教諭 仲野 芽衣
第3分科会 技術分野 C 【エネルギー変換の技術】	青梅市立第一中学校 主任教諭 岡崎 靖	東久留米市立中央中学校 主幹教諭 峯川 周一郎
第4分科会 技術分野 D 【情報の技術】	江戸川区立松江第二中学校 主任教諭 堀米 哲	江戸川区立小岩第五中学校 教諭 小名 一史
第5分科会 家庭分野 A 【家族・家庭生活】	小平市立小平第一中学校 教諭 橋爪 友紀	町田市立鶴川中学校 教諭 鵜殿 ことみ

分科会及び題材の内容	所属校・授業者	分科会での研究発表者
第6分科会 家庭分野 B1 【衣食住の生活（食生活）】	台東区立上野中学校 主任教諭 西田 千恵子	練馬区立中村中学校 主任教諭 渡邊 あづさ
第7分科会 家庭分野 B2 【衣食住の生活（衣住生活）】	墨田区立両国中学校 主任教諭 佐藤 久美子	江東区立第二砂町中学校 指導教諭 井上 あゆみ
第8分科会 家庭分野 C 【消費生活・環境】	世田谷区立烏山中学校 教諭 小林 桃子	世田谷区立桜丘中学校 教諭 鬼頭 志歩

## 8 研究の見どころ

分科会	
<b>第1分科会</b> <b>技術分野 A</b> <b>【材料と加工の技術】</b>	<p>学校の机を題材に取り上げ、既習内容を駆使した製品開発学習をすることで、技術の見方・考え方を鍛え、新たな発想を生み出そうとする技術イノベーションを育むことができる。また製作を通して、開発者・使用者の視点を意識させることで、技術を適切に評価し選択できる技術ガバナンスを育成できると考え題材の開発に取り組んだ。</p> <p>指導助言者：東京学芸大学 大学院 教育学研究科 教育実践創成講座 教授 大谷 忠 様</p>
<b>第2分科会</b> <b>技術分野 B</b> <b>【生物育成の技術】</b>	<p>発問を工夫し「知的刺激を与える」ことなど、指導方法を工夫することにより、生徒の学習に対する意欲を高め、主体的・協働的に問題を発見し解決しようとする生徒、生物育成の技術と生活との関わりを理解し持続可能な社会の構築をめざす生徒を育成できると考え、研究に取り組んだ。</p>
<b>第3分科会</b> <b>技術分野 C</b> <b>【エネルギー変換の技術】</b>	<p>エネルギー変換の技術が用いられた製品を取り上げ、課題の解決に向けたモデルの製作に取り組んだ。その際、生徒が成果物を客観的な基準で評価し、試行錯誤しながら最適化を図り、改良・修正をできるように指導方法を工夫することにより、自ら問題点や改善点を見いだして課題を設定し、問題を解決できる生徒の育成を目指した。</p> <p>指導助言者：東京学芸大学 教育学部 技術・情報科学講座 技術科学分野 講師 今井 慎一 様</p>
<b>第4分科会</b> <b>技術分野 D</b> <b>【情報の技術】</b>	<p>生徒が「様々な情報から問題を見極め課題を設定する力」、「解決に向けたアイデアを筋道立てて考える力」、「課題を解決して新たな問題を見いだす力」を身に付けることを目指し、問題を発見し課題を認識するための手立ての工夫、課題の解決の道筋を考えさせる手立ての工夫、課題を考えさせるための手立ての工夫に取り組んだ。</p> <p>指導助言者：玉川大学教職大学院教授 佐藤 修 様</p>
<b>第5分科会</b> <b>家庭分野 A</b> <b>【家族・家庭生活】</b>	<p>3年間の見通しがもてるよう、ストーリー性をもたせた学習を計画的に取り入れた。また「見方・考え方」を働かせ、質の高い学びを実現するための指導工夫、これからの生活を展望し、課題を解決する学習過程の工夫、持続可能な社会の実現に向けた学習活動の工夫に取り組んだ。</p>
<b>第6分科会</b> <b>家庭分野 B1</b> <b>【衣食住の生活(食生活)】</b>	<p>食生活をよりよくするために、工夫し創造して実践しようとする生徒の育成を目指し、全30時間を4つの題材で構成し、問題を見極め、課題を設定し解決する一連の学習過程を通して育成すべき資質・能力を育成する。持続可能な社会の構築の実現に向けて、食生活の問題から学習を通じた課題を設定するための工夫や、見方・考え方を働かせるための指導方法の工夫に取り組んだ。</p>
<b>第7分科会</b> <b>家庭分野 B2</b> <b>【衣食住の生活(衣住生活)】</b>	<p>衣生活、住生活を工夫し創造する生徒の育成を目指し、生活の営みに係る見方・考え方（健康・快適・安全）で貫く指導計画を作成した。学習指導では、動画やワークシートを効果的に活用しながら、問題を見極め課題を設定し解決する一連の学習過程を展開する授業の研究に取り組んだ。</p>
<b>第8分科会</b> <b>家庭分野 C</b> <b>【消費生活・環境】</b>	<p>本題材を4つのまとまりに分けて、各題材がPDCAサイクルによる一連の学習過程を踏まえた展開となるよう構成した。「持続可能な社会の構築」という「見方・考え方」を踏まえ、中学生にとって身近な題材を工夫し、解決に向けた実践活動を行うことで、自立した消費者として責任ある消費行動のとれる生徒の育成を目指した。</p>

## 9 全国理事研修会

11日(木) 15:00～16:00 オンラインで実施

## 10 全体会(ライブ配信) 主な内容 9:00～12:00

- (1) 開会式(主催者挨拶、大会委員長挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、感謝状贈呈者紹介)
- (2) 全体発表(全日中、東京都)
- (3) 指導講評
- (4) 閉会式(大会宣言決議、次期開催地紹介)

## 11 分科会

- (1) ライブ配信
  - ・技術分野 第3分科会 青梅市立第一中学校 14:30～16:00
  - ・家庭分野 第7分科会 墨田区立両国中学校 14:00～16:00
- (2) オンデマンド配信  
上記以外の分科会の様子については、11月下旬から1月31日(月)まで授業等の動画を申込者にWebページ上で限定公開いたします。

## 12 動画視聴の方法

前日まで	① 下記サイトから大会参加申込を行う。 ② 大会参加費を振り込む。 ③ 取扱い業者から申し込みをした際に登録したメールアドレスに動画視聴のためのアドレスが届く。
当日	① 開始時刻10分前に指定のアドレスにアクセスする。 ② 動画を視聴する。

## 13 大会諸経費

大会参加費(資料代)……………4,000円

## 14 大会参加・申込について

**個人でのWeb申し込みとなります。**取扱い業者 株式会社JTB 教育第二事業部  
10月8日(金)までに下記の「大会申し込みWebサイト」からお申し込みください。  
申し込み後、クレジットカードまたは銀行振り込み等で参加費をお支払いください。  
(10月20日(水)までにお振込みください。)  
振り込みが確認されることで、申し込みが完了します。

**大会申し込みWebサイト**

<https://amarys-jtb.jp/ajgika60/>

(7月12日(月)よりお申し込み可能になります。)

## 15 大会事務局

東京都中学校技術・家庭科研究会 事務局長 台東区立浅草中学校長 瀬川 眞也  
〒111-0051 台東区蔵前1-3-4 TEL:03-3866-5169 FAX:03-5687-5888  
(E-mail: 大会事務局 s-segawa2@koumu.taitocity.net)

## 16 その他

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、大会の内容や開催形式を変更する場合があります。  
変更等、大会に関する諸連絡はWebサイトに掲載いたします。  
こちらにも参考にして頂ければと存じます。



全日本中学校技術・家庭科研究会

<http://www.ajgika.ne.jp/>

※ 重要なお知らせ  
・ 実行委員 全日本中学校技術・家庭科研究会(任意団体) 申込み受付  
・ 事務局 東京都立浅草中学校(〒111-0051) 台東区蔵前1-3-4 申込み受付  
・ 実行委員 東京都中学校技術・家庭科研究会(任意団体) 申込み受付  
事務局 〒111-0051 台東区蔵前1-3-4 TEL:03-3866-5169 FAX:03-5687-5888